

MIYANAVI2026

GYOZA

Utsunomiya City 2026

130th Anniversary

共に創り 輝き続ける うつのみや
未来を拓くまちづくり

市制130周年について
詳しくはこちら▶

全国から選ばれる「交通未来都市うつのみや」を目指して

令和5年8月26日、全線新設のLRTとしては、国内初となる「ライトライン」が開業しました。通勤・通学や買い物、観光での利用など、多くの方に利用いただいでおり、日常生活の移動手段の一つとして、定着しています。

交通系 IC カードを利用すると、公共交通がお得！

バスの上限運賃制度

片道運賃の上限が **400円!**

条件
○ 午前9時～午後4時の降車
○ 市内での乗り降り
○ 交通系 IC カード [totra] や [Suica] など利用時

乗継割引制度

ライトライン⇄バス	ライトライン⇄地域内交通
100円割引	200円割引
バス⇄地域内交通	バス⇄バス
200円割引	200円割引

条件
○ 60分以内の乗り継ぎ
○ 交通系 IC カード [totra] 利用時のみ

オフピー9パス

～朝9時以降なら、市内全域・片道500円以内～

ライトライン・バス・地域内交通を定額で利用できる1日乗車券「オフピー9(ク)パス」を販売中！

ライトラインの整備効果

ライフスタイルの変化 (令和7年5月時点)

- 公共交通全体の利便性の向上
開業前と比較した公共交通全体満足度「満足」「やや満足」「不満」「やや不満」約25ポイント増加 約17ポイント減少
- 自動車の転換台数(減額)
平日1日当たりの自動車の転換台数約5,000台(開業1年より1,200台増加)
- 外出機会の増加
開業前と比較した外出率の変化約7%増
- 歩く機会の増加
開業前と比較した40歳以上の平均歩数/日207歩増加(区別別)
- 整備効果について
約16億円～18億円(宇都宮市及び芳賀市における効果)

まちづくりの変化

- ライトライン沿線人口
約5,600人増(約10%増)(H24→R6)
- ライトライン沿線の地価
H24⇒R7 約9%増(商業地) 約14%増(住宅地)
- ある1日の鬼怒通りにおける交通量
開業前から約2,000台減少

JR 宇都宮駅西側のまちづくり

JR 宇都宮駅西口周辺地区の整備
ウォーカブルな空間の創出
「街なかの空間」を官民協働で人中心の居心地の良いウォーカブルな空間へと変えていく施策を展開

2050年に向けたJR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ

都心部のウォーカブルな空間の将来イメージ

うつのみやの実力

住めば愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

5年連続全国トップ5!

- 共働き子育てしやすい街 ※1 **第4位**
- SDGs 先進度 環境分野 ※2 **第1位**

※1 2025年版日経xwoman × 日本経済新聞社「共働き子育てしやすい街ランキング」20万人以上の都市
※2 日経グローバル「第4回SDGs先進度調査」全国815市区

ライトラインの整備効果

ライフスタイルの変化 (令和7年5月時点)

- 公共交通全体の利便性の向上
開業前と比較した公共交通全体満足度「満足」「やや満足」「不満」「やや不満」約25ポイント増加 約17ポイント減少
- 自動車の転換台数(減額)
平日1日当たりの自動車の転換台数約5,000台(開業1年より1,200台増加)
- 外出機会の増加
開業前と比較した外出率の変化約7%増
- 歩く機会の増加
開業前と比較した40歳以上の平均歩数/日207歩増加(区別別)
- 整備効果について
約16億円～18億円(宇都宮市及び芳賀市における効果)

まちづくりの変化

- ライトライン沿線人口
約5,600人増(約10%増)(H24→R6)
- ライトライン沿線の地価
H24⇒R7 約9%増(商業地) 約14%増(住宅地)
- ある1日の鬼怒通りにおける交通量
開業前から約2,000台減少

夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」

住めば愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

100年先も発展し続けるまちの姿である「NCC」を土台に、**地域経済循環社会** **地域共生社会** **脱炭素社会**

の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル技術」の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」

ネットワーク型コンパクトシティ (NCC)

中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業・観光拠点到まちの機能を集約し、それらを利便性の高い公共交通などで連携した都市

宇都宮市は、令和元年7月に **SDGs 未来都市** に選定されています

女性が活躍するまち うつのみや

住めば愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

女性が希望に沿って、様々な分野において個々の能力を發揮しながらいきいきと活躍できるまち「女性活躍リーディングシティうつのみや」の実現を推進しています。

フェムテックの推進

女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する「フェムテック」の活用を促進し、すべての女性がいきいきと活躍できる環境づくりを支援

先駆的に取り組んでいるフェムテックイベント

男女共同参画推進事業者表彰「きらり大賞」

令和7年度までに98者表彰!

性別にかかわらず個性と能力を發揮できる、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰

女性のためのLINE相談

LINEを活用し、個人の悩みや不安に寄り添い、女性の相談員が一人ひとり丁寧に対応。匿名・無料で相談可能

女性活躍プラットフォームの構築

女性活躍に取り組む個人・企業・団体等のネットワークづくりを促進し、女性人材の発掘・育成や、好事例の横展開など、あらゆる分野における女性活躍の推進をトータルでサポートする体制を整備

プラットフォーム(交流・対話の場) 情報発信 交流 相談・支援

ネットワーキングの形成 参加 地域 教育

好事例の集約 ロールモデルの発掘 相談・支援

共創のまち うつのみや

住めば愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

市民・事業者・団体・行政などが一体となり、市民サービスの向上や新しい価値の創造を目指す、「共創のまちづくり」を進めています。

ミヤ・共創ラボ

地域課題・行政課題の解決に向け、様々な事業者等と手を組み、宇都宮市をフィールドに実証実験を実施 (実証実験などへの支援 上限100万円)

【プロジェクト例】
・学校プールの水位管理事業
・給食のアレルギー情報のデジタル管理事業など

うつのみや未来創造プロジェクト (通称：みやプロ)

官民の若者がつながり、「宇都宮市にあってほしい取組」について議論し、新たな取組を実践。女性活躍や子育て分野など24事業を導出(令和7年度時点)

東京オフィス

東京圏の多種多様な企業や人と新しい関係を構築し、行政や市内企業との事業連携や協業を促進

約100社の企業をマッチング 10社の企業を誘致(令和7年度時点)

うるま市との友好都市提携

宮まつりでのエイサー披露や、児童生徒の文化交流、農産物の交流など

令和6年8月3日、本市は沖縄県うるま市と、国内の都市として初めて「友好都市」を提携し、幅広い分野で連携・交流事業を実施

住んでみたい・住み続けたいまち うつのみや

住めば愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

移住定住数は令和2年度から令和6年度にかけて、26人から364人 **約13倍に増加!** (令和6年度時点)

移住定住 応援サイト▶

宇都宮ブランド・移住定住プロモーション

ライトラインが走り、楽しさや賑わいが溢れる街の姿や子育てのしやすさなど、全国に誇る魅力や強みを生かし、PR動画やデジタルマーケティングなどを活用したプロモーションを展開

▲PR動画

「移住」「定住」をサポートする支援策が充実!

移住支援金

東京圏からの移住で100万円+aを補助

みや暮らし体験事業

参加費無料で宇都宮市に「お試し移住」

通勤・通学補助金

新幹線による東京圏への通勤・通学が対象

若年夫婦・子育て世帯及び新卒採用者等家賃補助

民間賃貸住宅の家賃を補助

宇都宮市移住定住相談窓口「miya come」

ミヤ カム

●移住や定住に向けた支援制度や住まい、仕事、子育て・教育環境など、多様な相談内容をワンストップで対応
●移住者交流会などの各種イベントも開催され、市内外多くの人が利用

JR宇都宮駅直結の複合施設「ウツノミヤテラス」に常設